

天気 特集 フォト 動画 地域 ランキング ことば 毎日jpラボ RSS

子育て・教育 就職・転職 株・マネー 住宅 健康 IT・家電 食 ファッション 環境 毎日かあさんち 英語を学ぶ

トップ > ライフスタイル > オトコとオンナの事情・フランス編 > アーカイブ > 記事

オトコとオンナの事情・フランス編

文字サイズ変更 小 中 大

ブックマーク この記事を印刷

第86回 バレンタイン村に集うカップル 14日は愛の祭り

バレンタインデーが近づくと、ハート型の広告がならび、オススメのプレゼントが話題になるのはフランスも日本も変わらない。違うのは、愛する女性に花束を贈るオトコたちが、バラを買い求めて花屋に行くこと。白髪混じりの紳士からジーンズ姿の若者まで、赤いバラ1本または花束をかかえてさっそうと歩いている。



フランスのバレンタイン村(C)la mairie de Saint-Valentin

バレンタインと言えば、フランスにはバレンタイン(Saint-Valentin)という名前の村がある。パリからおよそ260キロ、フランス中央部のアンドル県にある、人口285人の小さな村。その名は、1190年には記録に残っており、バレンタイン聖人の守護の下、カトリック教の教区がおかれているが、その由来ははっきりしていない。村によると、別の場所からバレンタイン聖人の骨や遺物など、聖遺物が運ばれてきたと考えられているそうだ。

フランスの暦を眺めると、毎日異なる聖人の名前がついている。2月14日はバレンタイン聖人の日。第一次世界大戦前まで、この村では村人全員が参加して聖人の日を祝う盛大な宴を開いていた。教会のミサにはじまり、聖人の旗を先頭に村を練り歩いた。



村役場(C)la mairie de Saint-Valentin

その後、途絶えていたこの行事は、1965年に愛する人びとの祭りに生まれ変わる。当時の村長が先頭に立ち、花屋や商業連盟も後援にまわって、大きな祭りに発展した。周辺地域の婚約者らおよそ100組が集まり、ミサや行列に加えてダンスパーティーも開かれ、多くの露店が並んだ。

その後、途絶えていたこの行事は、1965年に愛する人びとの祭りに生まれ変わる。当時の村長が先頭に立ち、花屋や商業連盟も後援にまわって、大きな祭りに発展した。周辺地域の婚約者らおよそ100組が

トピックス

- 紀伊國屋書店に着ぐるみ「かあさん」
- 毒物カレー事件、21日に最高裁判決
- 金田龍之介さん死去 **熱血共演NEW**
- 飲酒運転「アルコールはりんごの食べ過ぎ」
- 安藤美姫「納得の1年」
- ソフトバンクユニホームに「白い犬」
- DJ OZMA、引退の真相を告白
- アラフォーのあこがれ 松田聖子

ピックアップ

- 【未解決事件の特集】忘れない 吉田有希ちゃんの悲劇
- 【動画】「未解決」を歩く 栃木・小1女児殺害事件

MAINICHI KiReI 麻生花帆さんに聞く

【首相vs記者団】詳報、麻生首相の肉声

[an error occurred while processing this directive]
【PR】「オウチーノ」ことなら「HomePLAZA」

社交ダンスツアーに突撃！
若狭の特選お土産プレゼント

ライフスタイルアクセスランキング

1時間	24時間	昨日
初	1 NY原油:反落 1/パレル=68. 44...	
	2 グーグル、ストリートビューに新ナビゲ...	
	3 クジラ:浅瀬で55頭助けず 救出困難...	
初	4 新教育の森:夜間中学を題材に大学生が...	
	5 NTTドコモ:9万円の「エヴァケーター...	

ライフスタイルランキング 一覧

特集企画

- スポーツセミナー 開催希望小学校大募集
- 英語力アップのコツをゲット！
- 美味しく健康！手作り梅ジュース
- 高校生小論文コンテストに注目
- この夏おすすめ旅をピックアップ
- 子供たちと携帯電話の問題
- 旅のお役立ちグッズはこちらで！
- スピーチコンテストで Step Up！
- 日本の名曲をジャズで聴こう！！
- 田舎に行こう
- 中高年の資金運用

これが今日も続く、バレンタイン村のバレンタイン祭り。いまや世界中から1000組以上のカップルが集まる一大行事に発展した。日本の姉妹都市、岡山県美作市(旧・作東町)をはじめ、オーストリアやカナダにあるバレンタイン村からも参加者がある。婚約者はもちろん、結婚25周年の銀婚式を迎えるカップルや、50周年の金婚式、60周年のダイヤモンド婚を祝う年配組の姿もある。

この祭りは、毎年14日に最も近い週末に開かれているが、今年は14日が土曜日。例年に比べて、多くの参加者を見込んでいる。村人たちは、色とりどりの花で村中の飾りつけを始めている。当日は、村役場で愛の証を受け取った後、教会のミサに参列。愛をテーマにした展覧会やコーラス、ダンスパーティーも予定されている。

フランスでは、「よいツグミは、2月中旬に巣作りをはじめるといふことわざがある。寒さが峠をこえて春の訪れを感じる季節。バレンタインデーは、人生の伴侶に出会い、愛を誓いあうのに最適な日」と言われている。



ミサが行われる教会 (C) la mairie de Saint Valentin

2009年2月10日

[オトコとオンナの事情・フランス編](#) [アーカイブ一覧](#)

- “週末ETC”、たとえばこんなプラン(PR)
- 家族ケータイ節約法&使い方(PR)
- 早めに頼んだほうがお中元はお得?(PR)

～声かけあおう、手をつなごう～

おすすめ情報

[ページの先頭に戻る](#)

ニュースセレクト

事件・事故・裁判 | 話題 | 海外 | 経済 | 政治 | サイエンス | 気象・地震 | 人事・訃報 | コラム・社説

エンタメ&スポーツ

スポーツ | 芸能 | 映画 | 音楽 | アニメ・マンガ・ゲーム | クルマ | 旅行 | 競馬 | 毎日の本棚 | 囲碁 | 将棋 | 芸術・文化

ライフスタイル

恋愛・結婚 | 子育て・教育 | 就職・転職 | 株・マネー | 住宅 | 健康 | IT・家電 | 食 | ファッション | ガーデニング | 環境 | 毎日かあさんち | 英語を学ぶ

毎日新聞 購読申し込み | WEEKLY 毎日ウィークリー 購読申し込み

[リンクについて](#) | [毎日jpとは](#) | [広告掲載](#) | [著作権](#) | [個人情報](#) | [ご意見・お問い合わせ](#)
[毎日jpの歩き方\(FAQなど\)](#) | [法人向けサービス](#) | [アクセシビリティ](#) | [読者投稿](#) | [毎日jpラボ](#)

